

# 平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

## I. 社会貢献啓発事業（公益目的事業 1）

### 1. 機関誌の頒布事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集している。平成 29 年度の実績および企画案は以下の通り。

| 平成 29 年度          | 特 集                                                  |
|-------------------|------------------------------------------------------|
| No. 379（4-5 月号）   | 企業の社会貢献を牽引する社員の力                                     |
| No. 380（6-7 月号）   | ディープエシカルのすすめ                                         |
| No. 381（8-9 月号）   | 社会に活かすシニアのちから                                        |
| No. 382（10-11 月号） | 健全な民主主義を支える図書館の役割                                    |
| No. 383（12-1 月号）  | 社会を照らす、まちかどのフィランソロピストたち<br>～まちかどのフィランソロピスト賞 20 周年記念～ |
| No. 384（2-3 月号）   | 女性の活躍（114 位の意味を考える）                                  |

### 2. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR 情報の提供、NPO・NGO 団体の活動最新情報を発信。

- (1) メールマガジン（毎月 1 日・15 日配信 配信数約 6,000 件）
- (2) 当協会 WEB サイト情報更新。
- (3) (1) (2)を補完する情報発信源として、SNS(facebook)を利用。協会をより身近に感じてもらう事の出来るトピックを選び、職員全員で情報をアップ。  
<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>

## II. 社会貢献促進事業（公益目的事業 2）

### 1. 研修事業

#### (1) 定例セミナー

8 月以外の毎月、幅広いテーマで開催。4～6 月は、新任の CSR 担当者も多いことから基礎講座を開講。

| 実施日                 | 内容                                                                                       | 参加者数 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 第 329 回<br>4 月 11 日 | CSR 基礎講座 I<br>『社員参加による社会貢献活動の推進』<br>＜講師＞堀 久美子 氏<br>(UBS グループ コミュニティアフェアーズ エグゼクティブディレクター) | 35 名 |
| 第 330 回<br>4 月 20 日 | CSR 基礎講座 II<br>『企業市民の原点から今後の CSR を考える』<br>＜講師＞松岡 紀雄 (まつおか・としお) 氏<br>(神奈川大学名誉教授)          | 25 名 |

|                      |                                                                                                                            |      |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 第 331 回<br>5 月 25 日  | CSR 基礎講座 III<br>『良心による企業統治 ～ 渋沢栄一の経営哲学からの示唆』<br>＜講師＞田中 一弘 氏<br>(一橋大学大学院商学研究科 教授)                                           | 19 名 |
| 第 332 回<br>6 月 8 日   | CSR 基礎講座 IV<br>『社会貢献活動を立ち上げ、広めてきた経験からみる今後』<br>＜講師＞山ノ川 実夏 氏<br>(三井住友海上火災保険株式会社 総務部 部長 地球環境・社会貢献室長)                          | 35 名 |
| 第 333 回<br>6 月 26 日  | CSR 基礎講座 V<br>『CSR の最新トレンド～SDGs 時代の企業責任』<br>＜講師＞関 正雄 氏<br>(損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR 室シニアアドバイザー)                                | 49 名 |
| 第 334 回<br>7 月 21 日  | 『新時代における枠を超えた発想や生き方』<br>＜講師＞國田 圭作 氏<br>(株式会社博報堂 行動デザイン研究所 所長)                                                              | 32 名 |
| 第 335 回<br>9 月 26 日  | 『社員参加を促すための知恵と工夫を聞く』<br>＜講師＞山尾 ゆり 氏 (フィリップ モリス ジャパン合同会社)<br>安川 彩 氏 (三菱商事株式会社)                                              | 43 名 |
| 第 336 回<br>10 月 24 日 | 『刑務所出所者等の社会復帰支援と企業への期待』<br>＜講師＞大橋 哲 氏<br>(法務省 大臣官房審議官 (矯正局担当) )                                                            | 16 名 |
| 第 337 回<br>11 月 24 日 | 『企業による教育支援の今後 ～出前講座を超えて～』<br>＜講師＞竹元 賢治 氏<br>(インテル株式会社 インダストリー事業本部 教育事業開発推進担当部長)                                            | 26 名 |
| 第 338 回<br>12 月 19 日 | 『「少年と自転車」映画鑑賞と対談～里親について考えるタベ～』<br>＜高橋理事長との対談者＞坂本 洋子 氏<br>(東京都小規模住居型児童養育事業「坂本ファミリー」管理者、「里親ひろば<br>ほいっふ」グループ代表)               | 66 名 |
| 第 339 回<br>1 月 24 日  | 『教育格差是正に取り組む企業と NPO の事例から、今後の課題を考える<br>～共に生きる未来へ向けて～』<br>＜講師＞石井 貴基 氏 (株式会社葵 (アオイゼミ) 代表取締役)<br>森山 誉恵 氏 (認定 NPO 法人 3keys 代表) | 20 名 |
| 第 340 回<br>2 月 23 日  | 『農福連携の最先端を学ぶ～企業・農業者・障がい者／高齢者等のパートナ<br>シップで地域再生を～』<br>＜講師＞濱田 健司 氏 (全国農福連携推進協議会 会長)                                          | 30 名 |
| 第 341 回<br>3 月 13 日  | 『ESG 投資の最新動向～SDGs 時代に評価されるサステナブルな企業になるた<br>めに～』<br>＜講師＞水口 剛 氏 (高崎経済大学 経済学部 教授)                                             | 50 名 |

## (2) フィランソロピーセミナー in 関西

平成 29 年度も、関西（大阪）を中心に開催している。

| 実施日                | 内容                                                                                                              | 参加者数 |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 第 25 回<br>5 月 19 日 | 『良心による企業統治～渋沢栄一の経営哲学からの示唆～』<br>＜講師＞田中 一弘 氏<br>(一橋大学大学院商学研究科 教授)                                                 | 15 名 |
| 第 26 回<br>9 月 1 日  | 『誰も見捨てない社会とは～人権を守るために企業としてできること』<br>＜講師＞勝部 麗子 氏<br>(社会福祉法人豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長)                                    | 29 名 |
| 第 27 回<br>12 月 7 日 | 『企業と NGO の協働 - 課題を共視するパートナーシップの在り方』<br>＜講師＞鬼丸 昌也 氏<br>(特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス理事・創設者)                                | 20 名 |
| 第 28 回<br>1 月 25 日 | 『企業による教育支援の今後 ～出前講座を超えて～』<br>＜講師＞小林 征人 氏 (大和ハウス工業株式会社)<br>相良 有希子 氏 (阪急阪急阪神ホールディングス株式会社)<br>乾 とし子 氏 (パナソニック株式会社) | 27 名 |

(3) 経営者向け CSR エグゼクティブセミナー

平成 29 年度から、企業経営者向けに CSR のセミナーを 4 回シリーズで開講。自然環境の深刻な悪化、経済格差の進行や新たな技術の急速な進展による予期しなかった問題の発生など、企業をとりまく環境が激変する中、今後の企業経営はどうあるべきか、道筋を多角的に考えるセミナー。総合プロデューサーとして株式会社レスポンスアビリティの足立直樹氏が協力。

| 実施日               | 内容                                                                     | 参加者数        |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 第 1 回<br>9 月 5 日  | 『SDGs 時代のサステイナブルビジネスを考える』<br>＜講師＞足立 直樹 氏<br>(株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役)     | 7 社<br>11 名 |
| 第 2 回<br>11 月 9 日 | 『戦略的人材育成で、強くて優しい会社を創る』<br>＜講師＞スコット デイヴィス 氏<br>(立教大学 経営学部 教授)           | 7 社<br>11 名 |
| 第 3 回<br>1 月 15 日 | 『企業の視点とビジネスモデルで地方は創生できる』<br>＜講師＞古田 秘馬 氏<br>(株式会社 umari 代表／プロジェクトデザイナー) | 7 社<br>9 名  |
| 第 4 回<br>3 月 16 日 | 『ダイバーシティと人権から今後の CSR 経営の本質を考える』<br>＜講師＞村木 厚子 氏<br>(元 厚生労働事務次官)         | 8 社<br>10 名 |

(4) 「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」

～NPO リーダーのためのリーダーシップ育成プログラム～

平成 29 年度は、前年度の第 9 期の助成金で、(平成 29 年 2 月の東京に続いて) 5 月の福岡で開催し、卒業生は 311 名となった。半年後のフォローアップ・セッションは、東京は 9 月、福岡は 12 月に実施した。

アメリカン・エクスプレス財団からは、東京と福岡の 2 回開催分費用として 2018 年助成金を受領した。2018 年 2 月に東京会場を開催。30 名の研修生が参加し、卒業生は 341 名となった。

① American Express Leadership Academy Global Alumni Summit 2017

「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」のスポンサーであるアメリカン・エクスプレス財団より招待を受けて、研修生とパートナー団体を対象にしたグローバル・サミットに理事長の高橋が出席した。

日時：平成 29 年 4 月 3 日（月）から 4 日（火）

会場：マンハッタン・コミュニティ・カレッジ（米国ニューヨーク市）

② アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2017 第 9 期 福岡

日時：平成 29 年 5 月 11 日（木）から 13 日（土）2 泊 3 日

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前（福岡県福岡市）

総合監修：米倉誠一郎氏（法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授）

研修参加者：九州地方を中心とした地域の NPO 次世代リーダー 31 名（公募および推薦）

プログラム：

＜基礎講座（理念・哲学）＞

- ・「未来を拓くイノベーション」（米倉誠一郎氏）
- ・「率先垂範のリーダーシップ」（米倉誠一郎氏）

＜実務講座（業務遂行能力）＞

- ・「ロジカルシンキングと問題解決スキル」
- ・「モチベーション・マネジメント」
- ・「ユニバーサルトイレ・チェック（フィールドワーク）」
- ・「アメリカン・エクスプレスのリーダーシップ論」等

＜グループワーク＞

- ・ビジョンワークによる、社会的課題の再認識、掘り下げ、共有
- ・課題に対する企画の作成およびプレゼンテーション準備
- ・課題プレゼンテーション

- ③ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2017 第9期 東京  
『フォローアップ・セッション』  
日時：平成29年9月8日（金）12:30～18:30  
会場：ワテラスコモンホール（東京都千代田区）  
平成29年月の合宿研修に参加した研修生のうち19名が参加。5分間のプレゼンテーションで、研修後半年間の学びの実践について発表を行った。
- ④ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2017 第9期 福岡  
『フォローアップ・セッション』  
日時：平成29年12月4日（月）12:30～18:30  
会場：福岡市NP0・ボランティア交流センター「あすみん」（福岡県福岡市）  
参加者：合宿研修に参加した研修生
- ⑤ エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2018 第10期 東京  
日時：平成30年2月15日（木）から17日（土）2泊3日  
会場：都市センターホテル（東京都千代田区）  
総合監修：米倉誠一郎氏（法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授）  
研修参加者：全国のNP0次世代リーダー30名（公募および推薦）  
プログラム：  
＜基礎講座（理念・哲学）＞  
・「未来を拓くイノベーション」（米倉誠一郎氏）  
・「率先垂範のリーダーシップ」（米倉誠一郎氏）  
＜実務講座（業務遂行能力）＞  
・「ロジカルシンキングと問題解決スキル」  
・「モチベーション・マネジメント」  
・「道端留学～ビッグイシューの販売サポート（フィールドワーク）」  
・「アメリカン・エクスプレスのリーダーシップ論」等  
＜グループワーク＞  
・「私の履歴書」執筆を含む「自己探求の旅」  
・課題に対する企画の作成およびプレゼンテーション準備  
・課題プレゼンテーション

## 2. 顕彰事業

### (1) 第20回まちかどのフィランソロピスト賞

今年度は20周年を迎えることを機に、「次世代育成」を推進することを目的に企業賞を設け、青少年部門を強化した。

#### ① 応募状況について

|        |     |     |      |         |        |
|--------|-----|-----|------|---------|--------|
| ・一般部門  | 32件 | （応募 | ： 2件 | ／ 事務局推薦 | ： 30件） |
| ・青少年部門 | 32件 | （応募 | ： 6件 | ／ 事務局推薦 | ： 26件） |

#### ② 受賞者について

##### ●一般部門

##### 【まちかどのフィランソロピスト賞】

川野 幸夫（かわの・ゆきお）様 （埼玉県川越市 在住）  
高橋 陽介（たかはし・ようすけ）様 （東京都世田谷区 在住）

##### 【特別賞】

川淵 三郎（かわぶち・さぶろう）様 （千葉市 在住）

##### ●青少年部門

【文部科学大臣賞】 福津（ふくつ）市立福間（ふくま）中学校 （福岡県福津市）

【西武信用金庫賞】 武蔵村山市立第八小学校 （東京都武蔵村山市）

【奨励賞】 宮城県志津川（しづがわ）高等学校 （宮城県南三陸町）

【奨励賞】 北海道帯広養護学校 （北海道帯広市）

【奨励賞】 榮島 四郎（えいしま・しろう） 様 （小学4年生 横浜市在住）  
 杉澤 真生（すぎさわ・まさき） 様 （高校3年生 熊本市在住）  
 乳井 丈弥（にゅうい・じょうや） 様 （高校1年生 神奈川県座間市在住）

【贈呈式】

- 日時 2017年12月12日（火）午後1時30分～午後5時（終了後、懇親会）
  - 会場 学士会館 2階210室（東京都千代田区神田錦町3-28）
- ※当日は20周年記念パネルディスカッションを行う。

＜選考委員＞

委員長 出口 正之氏（国立民族学博物館 教授）  
 委員 落合 寛司氏（西武信用金庫 理事長）  
 河崎 保徳氏（ロート製薬株式会社）  
 小林 征人氏（大和ハウス工業株式会社）  
 二宮 かおる氏（カルビー株式会社）

(2) 第15回企業フィランソロピー大賞

7月1日より告知を開始し、下記のスケジュールにて事業を進めた。

＜応募総数：35件＞

自薦・他薦：29件 事務局推薦：6件

＜スケジュール＞

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 平成29年9月13日（水）    | 公募締切             |
| 平成29年10月6日（金）    | 第1次選考委員会         |
| 平成29年10月下旬～11月下旬 | 各社ヒアリング（10社）     |
| 平成29年12月15日（金）   | 第2次選考委員会・贈呈先企業決定 |
| 平成29年12月22日（金）   | 贈呈先企業の発表         |
| 平成30年2月27日（火）    | 贈呈式（於：日本プレスセンター） |

＜選考委員＞

委員長 武田 晴人氏（東京大学 名誉教授）  
 委員 岩田 喜美枝氏（株式会社資生堂 顧問、公益財団法人21世紀職業財団 会長）  
 佐藤 雄二郎氏（株式会社共同通信社 代表取締役社長）  
 渋澤 健氏（コモンズ投信株式会社 取締役会長）

■企業フィランソロピー大賞

アサヒグループホールディングス株式会社（東京都墨田区）

■企業フィランソロピー賞

【はたらく幸せ賞】 合同会社西友（東京都北区）  
 【とびたて若者賞】 セリエコーポレーション（神奈川県横須賀市）  
 【地域の未来創生賞】 全国信用協同組合連合会（東京都中央区）  
 【地球を守る緑のカーテン賞】 日立化成株式会社（東京都千代田区）

3. フィランソロピー・バンク事業（個人寄付推進事業）

(1) NPO向け

| 社名           | 内容                                                       |
|--------------|----------------------------------------------------------|
| アメリカン・エキスプレス | 熊本地震の被災者支援のため、ギフトカードの売上げに応じた寄付予定。                        |
| 株式会社かんぽ生命保険  | 保険商品でウェブ約款を選択した顧客数に応じ寄付金を拠出するプログラムで環境分野のNPO 32団体に寄付金を配布。 |

|                    |                                                                                                                                                                |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株式会社ジェーシービー        | 東日本大震災復興支援の取組みとして実施。平成 29 年度も実施し、当協会を通じて寄付先 19 団体が決定。11 月上旬に寄付を実施、平成 30 年度 10 月、または平成 31 年度 3 月までに活用終了予定。                                                      |
| FIL Foundation     | NPO の基盤整備を目的として 2 団体に寄付金を配布、2 団体を選定中。                                                                                                                          |
| 株式会社ファンケル          | 顧客のポイントを金額換算し、全国 10 ヶ所の重度心身障がい者施設に寄付する。平成 29 年 4 月に平成 28 年度分 10 団体の寄付先が決定。平成 29 年 6 月上旬に寄付を実施、各団体からの活用報告書も受領済み。<br>平成 29 年度分についても、3 月中に選定し、平成 30 年 4 月に贈呈式を実施。 |
| 株式会社三井住友銀行         | 社員による寄付プログラムで、コミュニティ・次世代・環境の分野で活動する 20 団体、および社員がボランティアをしている 12 団体に寄付金を配布。                                                                                      |
| 株式会社みずほフィナンシャルグループ | 社員による寄付プログラムで、様々な分野で社会課題の解決に取り組む NPO 5 団体に寄付金を配布。                                                                                                              |
| 明治安田生命保険相互会社       | チャリティー・コンサートの会場で集めた募金を、東北 3 県で「次世代育成」の分野で活動する 6 団体に寄付。<br>社会貢献活動基金を通じて、障がい者・高齢者支援および LGBT 支援を行う 8 団体に寄付。                                                       |
| 株式会社ゆうちょ銀行（新規）     | 環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体に寄付金を配布。                                                                                                                          |
| 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 | 社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患儿支援団体、認知症啓発団体に平成 30 年 3 月ごろの寄付予定。寄付先は昨年の寄付先を継続。                                                                                      |
| 東洋ゴム工業株式会社         | 環境基金の内、500 万円分の寄付を今年度より担当。環境問題に携わる国内 NPO 5 団体に寄付決定。                                                                                                            |

## (2) 個人向け

### ① 東京海上日動あんしん生命 奨学金制度

#### ➤ 応募資格等

- ◆ 疾病により保護者を失った遺児で、経済的理由により支援を必要とし、高等学校等から大学等への進学希望がある方
- ◆ 応募時における前年度の年間世帯収入□ 額が、指定の条件を超えない方

- 募集期間：平成29年6月1日（金）～平成29年10月31日（火）
- 募集人数：50名
- 給付額：年間 30 万円
- 申請数：73 名（昨年度：91 名）

※ 審査の上、申請内 50 名に内定通知送付済み

### ② 東京海上日動あんしん生命 幼児教育支援制度

#### ➤ 応募資格等

- ◆ 疾病により保護者を失い、経済的理由により支援を必要とする未就学の遺児かつ平成24年4月2日～平成27年4月1日生まれのお子さまを養育する方

- ◆ 応募時における前年度の年間世帯収入金額が、指定の条件を超えない方

- 募集期間：平成29年6月1日（金）～平成29年10月31日（火）
- 募集人数：100名
- 支援内容：株式会社ベネッセコーポレーションの「こどもちゃれんじ」を、年少～年長期間に1年間～最大3年間、無償で提供
- 申請数：3名（昨年度：1 名）

※ 3名に決定通知送付済み

#### 4. フィランソロピー社会基盤整備事業

##### (1) 個別企業社会貢献推進事業

##### A. 従業員ボランティア支援事業

##### ①「ボランティアウェブ」利用企業

| 社名               | 内容                                                                                                                                 |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株式会社NTT ドコモ      | 平成 28 年 4 月より通年での契約で「ボランティアウェブ」の利用を開始。現在 5 地域で利用中。                                                                                 |
| 日本ロレアル株式会社       | 昨年に続き、平成 29 年 6 月の 1 ヶ月のみの期間限定利用。全世界でのボランティア強化月間のプログラムの受入先調整および申込受付業務を受託。今年は、40 種、137 回分、682 名分のプログラムを「ボランティアウェブ」を通じて募集し、474 名が参加。 |
| 株式会社ジェーシービー      | 平成 23 年から実施している「JCB 社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」を通じて引き続き利用中。                                                                  |
| サントリーホールディングス    | 平成 29 年 3 月より、社内の「働き方改革」の一環で、「ボランティアウェブ」を利用中。                                                                                      |
| リシュモン ジャパン株式会社   | 平成 29 年 7 月 15 日～8 月 15 日、期間限定で利用。同社で初めてのボランティア月間を設定した。8 名参加。                                                                      |
| 阪急阪神ホールディングス株式会社 | 平成 29 年 4 月 15 日～6 月 15 日、期間限定で利用。22 名が参加。                                                                                         |

ボランティアウェブの利用促進を目的として、通年利用企業 3 社（NTT ドコモ、サントリー、ジェーシービー）の従業員を対象とした「3 社合同ボランティアプログラム」を実施した。

開催日時： 2017 年 12 月 16 日（土） 10:00～15:00

活動プログラム：「D029-エコ農園で畑仕事」

受入団体： NPO 法人日の出太陽の家ボランティアセンター

活動場所： ①（任意団体）東京地球農園（テラ・ファーム）（東京都あきる野市）  
② 社会福祉法人太陽福祉協会（東京都西多摩郡日の出町）

参加数： ボランティアウェブ利用企業の従業員 22 名、担当者 4 名、合計 26 名。

##### ② 個別コーディネート企業

| 社名                | 内容                                                                                              |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アクセンチュア株式会社       | 部門毎は不定期に、新入社員研修は毎月、年 26～30 回程度のプログラムを企画運営。平成 29 年も実施中。                                          |
| MSD 株式会社          | 平成 29 年度は、保健医療に関係した新規ボランティアプログラムとして、「間伐材を活用した人体パズル」の製作を東京と埼玉で 2 回開催。合計で 31 名が参加。                |
| 株式会社オリエントコーポレーション | 4 月に「プレミアム・フライデー」推進のためのボランティアプログラムの実施を支援（福祉作業所の菓子販売）。7 月には、埼玉県の実業所にて国際協力ボランティアプログラムを開催。14 名が参加。 |
| 株式会社かんぽ生命保険       | 年に 2 回、会議室ボランティアを実施予定。8 月 23 日に 1 回目を実施し（28 名参加）、平成 30 年 1 月 17 日に 2 回目を実施予定。                   |

|                               |                                                                                     |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 新日鉄住金エンジニアリング株式会社             | 平成 26 年より、2 か月に 1 回の頻度でボランティアプログラムを実施中。今年度は、初めての支店開催として、北九州支社のプログラムを現地 NPO と連携して開催。 |
| 積水化学工業株式会社                    | 東京本社の呼びかけで、全国にある工場や子会社等単位でのボランティアプログラムを実施中。                                         |
| 大日本印刷株式会社                     | 従業員の被災地ボランティアプログラムの企画および実施を支援。今年度は、7 月に石巻（雄勝）32 名参加、10 月に熊本県南阿蘇村立野地区 23 名参加で活動を実施。  |
| フィリップモリスジャパン株式会社              | 従業員ボランティアプログラムの申込受付を「ボランティアウェブ」を通じて支援。                                              |
| プルデンシャル ジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社 | 10 月 21 日（土）、地域農園支援ボランティアを実施。13 名が参加。                                               |
| リシュモン ジャパン株式会社                | 海岸清掃ボランティアプログラムを 7 月 29 日（土）に実施。社長も含め、58 名が参加。                                      |
| フィリップス・ジャパン株式会社               | 1 月に日本支社のマネジメントチームの研修の一部として、ボランティアプログラムを実施。                                         |

## B. 助成支援

| プログラム名・社名                          | 内容                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「田辺三菱手のひらパートナープログラム」<br>田辺三菱製薬株式会社 | 難病患者団体、支援団体が実施する活動への助成金プログラム。<br>・第 4 期（平成 28 年度助成事業実施）<br>報告会を 10 月 17 日大阪で、10 月 25 日東京で実施。<br>・第 5 期（平成 29 年度助成事業実施中）<br>10 月 30 日期限として中間報告を提出。<br>・第 6 期（平成 30 年度助成事業）は、330 の特定疾患を対象に公募。通常助成（100 万円）12 団体、少額助成（30 万円）9 団体に総額 1,000 万円を助成。 |
| 「JT NPO 助成事業」<br>日本たばこ産業株式会社       | 地域コミュニティ再生と活性化に取り組む NPO 助成事業の第一次書類審査を支援。                                                                                                                                                                                                     |

## (2) 社会貢献活動支援

| プログラム名・社名                          | 内容                                                                                                                      |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「国産小麦ゆめちからの栽培研究プログラム」<br>敷島製パン株式会社 | 中高生向け社会貢献プログラムの一環で食料自給率を考えるワークショップを企画・ファシリテート。6 月 18 日（日）、大阪豊中工場にて実施。                                                   |
| 「森と紙のなかよし学校」<br>日本製紙株式会社           | 日本製紙が所有する菅沼社有林で小学生親子を対象に行う環境教育プログラム。毎年 6 月に予定されていた回は平成 29 年度は中止となった。<br>9 月の回は、9/9(土)10(日)群馬県丸沼高原にて実施。<br>25 家族 58 名参加。 |
| SMBC コンシューマーファイナンス株式会社             | 7 月 7 日、全国から担当者が集まる「CSR 推進リーダー会議」において、全体の企画、講演、グループディスカッションのファシリテーションを実施。                                               |
| 「ボランティア演芸会」<br>王子ネピア株式会社           | 業務用大人オムツ等の売上一部の支援により、全国の介護施設で、全日本おむつ団と称する東西 10 名の落語家による演芸会を開催。80 回開催。                                                   |



|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「森里海つなぐプロジェクト」<br>東京ガス株式会社      | 森、里山、海、をつなぐ環境社会貢献活動の全体の支援。<br>有識者を含む運営委員会で進捗確認・意思決定をしながら遂行。<br>6月11日：海の活動として神奈川県海の公園にて「アマモ再生イベント」実施。(117名参加)<br>10月28日：里の活動として清瀬松山緑地保全地域にて「秋の武蔵野 雑木林の保全活動」実施。(32名参加)<br>10月31日：森の活動として「情報技術による新林業“スマート林業”」セミナー実施。(42名参加)<br>11月5日：海の活動「アマモ再生イベント」第二弾として神奈川県金沢シーサイドラインにて実施。(59名参加)<br>11月9日：森の活動として青梅市にて「情報技術による新林業“スマート林業”」実証見学会実施。(約70名参加)<br>3月5日：埼玉県と「森林（もり）づくり協定」を締結。<br>3月23日：「“スマート林業”報告会」実施。(20名参加)<br>3月末：5団体に対して寄付実施。 |
| 「新入社員研修」<br>東京海上日動火災保険株式会社      | 岩手県陸前高田市と宮城県石巻市にて平成29年度新入社員200名（グローバルコース採用）の復興支援に絡めた研修プログラムを調整し、5月8日～12日、5月15日～19日2週間に分け実行。<br>被災地の現状を知りながら、農業、漁業等のボランティアを実施。<br>来年度平成30年度新入社員212名（グローバルコース採用）プラス370名（エリアコース採用）の新入社員研修について全国11地域での研修プログラムを作成。平成30年4月16日～20日に実施。                                                                                                                                                                                                |
| 「SAVE SOAP プロジェクト」<br>アンファー株式会社 | 創立30周年記念事業として、新たに開発した蚊よけ成分を含んだ石鹸を日本国内での売り上げに応じてカンボジアで母子衛生教育とともに配布する。カンボジアでの教育プログラムと配布に関しては「認定特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会」と協働。<br>事前視察として高橋理事長が8月26日～30日にカンボジアに渡航。事業は10月11日に開始。<br>石鹸配布の補助として、洗うと絵が浮き上がる絵本をアンファー者が作成。今後衛生教育の補助教材として活用する。平成30年4月からカンボジアにて配布スタート。                                                                                                                                                                    |

### (3) 被災地復興支援事業

#### A. 復興応援 キリン絆プロジェクト

##### ① 福島農業支援事業

岩手・宮城より厳しい状況に置かれている福島県に対して行う第2ステージの追加支援。支援においては、「地域ブランドの育成支援」、「6次産業化・販路拡大支援」、「担い手・リーダーの育成支援」というテーマに加えて、特に地域連携を重視。

平成29年4月以降、以下の3プロジェクトの成果報告会を実施。

| 助成先団体名・プロジェクト名                                     | 事業内容                          | 助成金額 | 報告会   |
|----------------------------------------------------|-------------------------------|------|-------|
| JA そうま トルコギキョウ生産部会<br>「咲かそうそうま トルコギキョウ魅力アッププロジェクト」 | トルコギキョウを中心とした福島の花の産地育成・ブランド育成 | 8百万円 | 4月27日 |

|                                                  |                                                      |        |                                    |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------|--------|------------------------------------|
| そうま 天のつぶブランド協議会<br>「天のつぶブランド育成プロジェクト」            | 福島県発祥のブランド米<br>で「天のつぶ」の JA そう<br>ま地域でのブランド育<br>成・加工品 | 8 百万円  | 5 月 9 日                            |
| がんばっぺ！あんぼ柿協議会<br>「伝統産業 伊達のあんぼ柿の復活と<br>継承～新たな挑戦～」 | 90 年以上の歴史を持つ、<br>伊達の<br>あんぼ柿のブランド再生<br>と育成           | 20 百万円 | 5 月 31 日                           |
| F' S キッチン<br>(元 いわき 6 次化協議会)                     | (元)<br>いわき “食 Labo” プロ<br>ジェクト                       | 30 百万円 | 合同報告<br>会を平成<br>30 年 1 月<br>30 日実施 |

② 「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」(フォロー)

平成 25 年度から 3 年間実施してきた「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」の受講生を対象に、平成 28 年度からは、これまでの学びをベースに今後は各自が取り組むプロジェクトの具体化に取り組んでいる。平成 29 年度は、地域創生につながるような取り組みにすることを目指して、重点プロジェクトの支援や先進地視察による学びを深めている。平成 30 年 3 月 10 日に「地域創生 トレーニングセンタープロジェクト」と合同で「最終プレゼンテーション」を実施した(参加者約 220 名)。

③ 農業復興支援第 2 ステージ

「農業復興支援 第 2 ステージ」は、被災地の基幹産業の一つである農業において、「地域ブランドの育成支援」、「6 次産業化・販路拡大支援」、「担い手・リーダーの育成支援」をテーマと掲げ、平成 25 年度～26 年度に合計 39 件の助成に取り組み、それ以降、随時フォローアップを継続してきている。

④ 「KIZUNA Story Book」改訂版

平成 28 年 3 月に、震災から 5 年を迎えて、「復興応援 キリン絆プロジェクト」の農業支援をまとめた「KIZUNA Story Book」を発行。その後追加して助成された福島農業支援のプロジェクトも追記し、改訂版を 5 月 20 日発行。

B. サントリー・チャレンジド・アスリート

東日本大震災復興支援として以下の 3 事業を遂行している。

① 第 4 期「チャレンジド・アスリート奨励金」

7 月より公募開始。12 月 8 日(金)に審査会を実施。個人 49 名、団体 23 団体に総額約 3,300 万円給付決定。平成 30 年 1 月 24 日(水)各県にて記者発表を実施。

申請状況

|    | 個人 | 団体 |
|----|----|----|
| 岩手 | 19 | 10 |
| 宮城 | 30 | 19 |
| 福島 | 20 | 7  |
| 計  | 69 | 33 |

給付決定数

|    | 個人 | 団体 |
|----|----|----|
| 岩手 | 11 | 7  |
| 宮城 | 21 | 9  |
| 福島 | 17 | 7  |
| 計  | 17 | 23 |

<審査員（予定）> 4名

田口 亜希氏（パラリンピアン：射撃、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事）  
福留 史朗氏（パラリンピアン：陸上、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事）  
増子 恵美氏（パラリンピアン：車椅子バスケットボール、  
一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事）  
高橋 陽子（公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長）

② 「チャレンジド・スポーツアカデミー」

・アスリート・ビジット

チャレンジド・スポーツに対する子どもたちの理解を深めるため、チャレンジド・アスリートなどが3県の学校を訪問し、講演や競技体験会などを実施。

\*競技はすべて車椅子バスケットボール

| 開催日    | 実施会場            | 生徒数 |
|--------|-----------------|-----|
| 6月5日   | 福島県川内村立川内小学校    | 45  |
| 7月5日   | 宮城県多賀城市立東豊中学校   | 85  |
| 10月13日 | 岩手県陸前高田市立高田東中学校 | 60  |
| 11月24日 | 宮城県登米市米山東小学校    | 79  |
| 12月13日 | 福島県南相馬市小高区4小    | 22  |
| 3月5日   | 岩手県洋野町立種市小学校    | 66  |
| 3月6日   | 宮城県七ヶ浜町立松ヶ浜小学校  | 56  |

・チャレンジド・スポーツ体験教室

学校ではなく公募によりチャレンジド・スポーツの体験会を実施。本年は福島県にて開催予定。

| 開催日   | 実施会場        | 参加数 | 実施競技                    |
|-------|-------------|-----|-------------------------|
| 9月18日 | 福島県あづま総合運動場 | 140 | 車椅子バスケットボール、<br>陸上、ボッチャ |

③ 「チャレンジド・スポーツ育成サポート」

チャレンジド・スポーツ育成のため、基盤強化・環境整備などを支援。本年より各県にて車椅子導入教室を実施し、障害者スポーツのすその拡大に向けた講座を実施する。

車椅子導入教室

| 開催日     | 実施会場         | 参加者数 | 講師                                                |
|---------|--------------|------|---------------------------------------------------|
| 4月      | 盛岡市立乙部体育館    | 11名  | 橋本大佑氏<br>（ドイツ障害者スポーツ連盟公<br>認リハビリテーションスポーツ<br>指導者） |
| 23, 24日 | ふれあいランド岩手    | 23名  |                                                   |
| 8月27日   | 宮城県多賀城市総合体育館 | 23名  |                                                   |
| 11月19日  | 福島県勤労障がい者体育館 | 27名  |                                                   |

C. チャリティー・リレーマラソン東京2017

6回目となる平成29年度は、東北から4校、熊本から3校、東京から7校が参加。マラソンイベントの前には東北・熊本・東京参加校生徒による合同募金を実施し、企業募金、クラウドファンディング等の合計は3,432,178円となった。東北・熊本各校に49万円ずつ配布。夏休み中に東北被災地（岩手県陸前高田市・大船渡市・釜石市）および熊本被災地ツアーを実施。11月25日に東北・熊本各校の使途の発表を行う報告会を開催した。

特別協賛：新日本有限責任監査法人

協賛：アサヒグループホールディングス株式会社、MSD株式会社、  
クラシエホールディングス株式会社、株式会社ジェーシービー、  
トヨタ自動車株式会社、華為技術日本株式会社、  
三菱地所株式会社

特別協力：パナソニック株式会社

（Tシャツ提供：東洋アルミニウム株式会社）

参加校：

| 東北（４校）                                                                                                                              | 熊本（３校）                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県大船渡市立日頃市中学校</li> <li>・宮城県大崎市立古川中学校</li> <li>・東北学院中学校</li> <li>・福島県いわき市立平第三中学校</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高森町立高森中学校</li> <li>・高森町立高森東中学校</li> <li>・御船町立御船中学校</li> </ul> |

| 東京（７校）                                                                                                                          |                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区立銀座中学校</li> <li>・墨田区立両国中学校</li> <li>・江東区立有明中学校</li> <li>・東京学芸大学附属国際中等教育学校</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・足立区立栗島中学校</li> <li>・江東区立深川第二中学校</li> <li>・八王子市立四谷中学校（募金のみ）</li> </ul> |

#### <イベント実施予定>

| 日程                     | イベント内容                 | 場所                                            |
|------------------------|------------------------|-----------------------------------------------|
| ５月 27 日（土）             | 東北熟議<br>熊本熟議<br>東京熟議   | 東北学院中学校・高等学校<br>高森町立高森中学校<br>東京学芸大学附属国際中等教育学校 |
| ６月                     | 映像制作                   | 東北・熊本参加校                                      |
| ６月～７月                  | 東京参加校による募<br>金活動       | 都内                                            |
| ７月 15 日（土）             | 合同募金活動<br>歓迎会          | 都内                                            |
| ７月 16 日（日）             | リレーマラソン<br>募金贈呈式       | 都内<br>新日本有限責任監査法人会議室                          |
| ８月 16 日（水）～<br>17 日（木） | 東北スタディツアー<br>熊本スタディツアー | 岩手県陸前高田市・大船渡市・釜石市<br>熊本県御船町・高森町・南阿蘇村          |
| 11 月 25 日（土）           | 寄付金使途報告会               | 東北学院大学土樋キャンパス                                 |

### Ⅲ．共生社会創造事業（公益目的事業 3）

#### 1. 共生社会づくり推進事業

##### (1) 寄付醸成事業

##### A. 誕生日寄付運動事業

誕生日に寄付をするという事をコンセプトに、寄付文化の啓発と行動を推し進めるための事業を、次年度新しく始めるための準備として、各界の有識者に意見を伺う委員会を開催。

##### B. 寄付川柳

前回の寄付川柳は公益法人協会との共催で実施し、延べ 2,306 名、5,420 作品の応募であった。今回は当協会単独事業として実施。より「寄付」文化醸成に繋がる事業とするため、作品の応募に 1,000 円の参加費を徴収する（但し 18 歳以下の方は無料）。

参加費の使途は、平成 30 年度チャリティー・リレーマラソンの熊本と東北の中学生がマラソン参加のために上京する費用、ならびに東京の中学生が被災地を訪ねるスタディツアーの費用にあてる。

実施期間：2017 年 11 月 15 日（水）～2018 年 1 月 29 日（月）

応募詳細：総数 366 句（211 名より）

WEB での応募 79 件・・・39 件が 2 句

FAX・郵便での応募 133 件・・・115 件が 2 句

最年少 6 歳から最高齢 90 歳。小学生 5 名、中学生 60 名、高校生 107 名

参加費合計：34 件、34,000 円

A. 選考 ① 第一次選考として職員 5 名により約 100 に絞り込み。

② 最終選考会を2月28日（水）14：00～に実施。

選考委員：有識者として川柳家「水野タケシ」氏、高橋理事長

## B. 選考結果

|      |                     |        |    |    |      |
|------|---------------------|--------|----|----|------|
| 最優秀賞 | 異国の地寄付の服着て子ら駆ける     | 光ターン   | 74 | 女性 | 専業主婦 |
| 優秀賞  | ばあちゃんは 素通りできぬ 人でした  | 入り江わに  | 54 | 女性 | 専業主婦 |
| 優秀賞  | 小銭たち レジのとなりで 人助け    | ほな     | 7  | 女性 | 小学生  |
| 佳作   | ヒフミンに あやかりキフミン 国民的に | ときめきき  | 61 | 男性 | その他  |
| 佳作   | 兄を見てお金を入れた子の笑顔      | 永野 暖佳  | 16 | 女性 | 高校生  |
| 佳作   | あの世には持って行けぬと寄付をする   | 松本 みよ子 | 72 | 女性 | 主婦   |
| 佳作   | かけ声で止まってくれるあたたかさ    | 穴見 茉音  | 13 | 女性 | 中学生  |
| 佳作   | 既読スルー できず立ち寄り 募金箱   | ハロリアル  | 18 | 男性 | 高校生  |
| 佳作   | 1円の 募金で世界は 救われる     | 佐藤 友月  | 15 | 女性 | 中学生  |
| 佳作   | 自己満足 かもしれぬけど いいですか  | 石倉 久子  | 41 | 女性 | その他  |

## (2) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障害者の経済的自立のための名刺制作事業。

今年度は5作品を追加し、作品数は112となった。11月には、新規顧客開拓のツールとしてリーフレットを作成した。

1件：100枚

|      | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 制作件数 | 343    | 380    | 270    | 333    | 356    | 348    |

## (3) 声の花束

ドコモサポートの従業員ボランティアによる音訳活動を支援。

今年度は、下記の新規音訳作品を「声の花束」専用サイトに掲載した。

| 作品名           | 著作権者       | 音訳者数 |
|---------------|------------|------|
| 家族力大賞 2009    | 東京都社会福祉協議会 | 14 名 |
| きずなづくり大賞 2015 | 東京都社会福祉協議会 | 13 名 |

## 2. 次世代育成事業

### (1) 寄付推進事業（「寄付育」）

地域課題を題材にした課題解決学習を通して、子どもたちの「生きる力」を育てる教育機会を創出、普及する事業で、平成 29 年度も、公益財団法人 JKA からの助成を得て実施。

【平成 29 年度 公益財団法人 JKA「児童、高齢者、障害者が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動」助成事業】

#### ①推進委員会

<委員>

唐木 清志 氏（筑波大学 人間系 准教授）

藤木 正史 氏（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

横田 宗 氏（NPO 法人アクション 代表）

<開催日>

平成 29 年 7 月 31 日 第一回推進委員会

9 月 23 日 第二回推進委員会

## ②地域共生プログラム

7月11日～ 地域共生プログラム開始

- ・墨田区立両国中学校
- ・杉並区立杉並和泉学園
- ・八王子市立四谷中学校
- ・福津市立福間中学校
- ・高森町立高森中学校

## ③セミナーの開催

| 実施日                     | 内容                                                                                                                                                                                                      | 参加者数 |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 2017年<br>11月24日<br>(東京) | 『企業による教育支援の今後 ～出前講座を超えて～』<br>＜講師＞竹元 賢治 氏<br>(インテル株式会社 インダストリー事業本部<br>教育事業開発推進担当部長)                                                                                                                      | 26名  |
| 2018年<br>1月24日<br>(東京)  | 『教育格差是正に取り組む企業とNPOの事例から、今後の課題を考える ～共に生きる未来へ向けて～』<br>＜講師＞石井 貴基 氏(株式会社葵(アオイゼミ)代表取締役)<br>森山 誉恵 氏(認定NPO法人3keys代表)<br>※ 第339回定例セミナーとのコラボレーションで実施。                                                            | 20名  |
| 2018年<br>1月25日<br>(大阪)  | 『企業による教育支援の今後 ～出前講座を超えて～』<br>＜講師＞小林 征人 氏(大和ハウス工業株式会社)<br>相良 有希子 氏(阪急阪急阪神ホールディングス株式会社)<br>乾 とし子 氏(パナソニック株式会社)<br>※ フィランソロピーセミナー in 関西とのコラボレーションで実施                                                       | 27名  |
| 2018年<br>2月10日<br>(福岡)  | 『企業による教育支援の今後 ～学校・企業連携でより“深い”学びを～』<br>＜講師＞唐木 清志 氏(筑波大学 人間系教授)<br>白木 照久 氏(福岡県福津市立福間中学校 校長)<br>藤原 棋聖 氏(熊本県高森町立高森中学校 教諭)<br>相良 有希子 氏(阪急阪急阪神ホールディングス株式会社)<br>小湊 真美 氏 (西日本シティ銀行)<br>丹羽 真奈美 氏 (READYFOR 株式会社) | 32名  |
| 2018年<br>3月25日<br>(東京)  | 『シティズンシップ教育の実践を深める ～学校・企業連携の可能性～』<br>＜講師＞唐木 清志 氏(筑波大学 人間系教授)<br>藤木 正史 氏(東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭)<br>目黒 俊史 氏(杉並区立杉並和泉学園 教諭)<br>亀岡 点 氏(いわき市立平第三中学校 教諭)<br>高田 彩香 氏(株式会社りそなホールディングス)<br>竹元 賢治 氏(インテル株式会社)        | 35名  |

## ④講演録・事例集の作成

各導入セミナーおよび報告会の事例発表の内容を、講演録&事例集(報告書)として1000部作成。教育関係機関、セミナー出席者へ送付した。

## (2)「子どもの貧困課題」に関するファシリテーター育成研修プログラム(独立行政法人福祉医療機構助成事業)

昨年度の「子どもの支援に携わるボランティア育成等事業」に引き続き、本年度も平成29年度「子どもの貧困課題に関するファシリテーター育成研修事業」を実施。

今年度は、「実際に支援の現場を訪問する」や「実際の子どもの抱える課題を知る」といった、昨年度の研修でニーズの多かった点を踏まえた全5回の研修プログラムを12月より開催。

#### <研修テーマ>

「子どもの貧困」支援の現場に立つ ～子どもたちとの触れ合いを通して真の伴走者になるために～

#### <研修スケジュール>

|     |                                       |                                                                       |
|-----|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 研修 1<br>「自分の力をどのように支援の現場に活かすか」        | 2017年12月11日(月)<br>18:30～21:00                                         |
| 第2回 | 現場体験・子ども食堂編<br>「見る・触れあう・学ぶ・考える」       | 「特定非営利活動法人ピアサポートネットしぶや」が運営する渋谷区内の子ども食堂の現場(候補場所5箇所、候補日時全10日より、一つ以上に参加) |
| 第3回 | 研修 2<br>「支援の現場に求められるスキルとは」            | 2018年1月31日(水)<br>18:30～21:00                                          |
| 第4回 | 現場体験・発展編<br>「子ども食堂支援者との意見交換」          | 「特定非営利活動法人ピアサポートネットしぶや」が運営する子ども食堂「グループ青空」など、スタッフとの意見交換を行なう。           |
| 第5回 | 研修・まとめ<br>「子ども支援に必要なニーズと、企業人として出来ること」 | 2018年2月26日(月)<br>18:30～21:00                                          |

#### ◆ 検討委員

相川 良子 氏 (NP0 法人ピアサポートネットしぶや 理事長)  
 田中 康之 氏 (株式会社リンクアンドモチベーション フェロー)  
 前野 隆司 氏 (慶應義塾大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授)  
 松田 雄年 氏 (社会福祉法人東京家庭学校 校長)  
 横田 宗 氏 (NP0 法人アクション 代表)  
 研修参加者: 28 名

#### <「子どもの貧困」対策研修報告シンポジウム> 子どもたちの伴走者になるために

平成 30 年 3 月 14 日(水) 18:30 ～ 20:30 開催 参加者 77 名

##### ① パネルトーク「真の伴走者とは」

研修参加者代表より

- ・柿本 克彦 氏 (三井住友海上火災保険株式会社)
- ・野中 さやか 氏 (富士ゼロックス株式会社 CSR 部 社会貢献グループ)

検討会委員より

- ・相川 良子 氏 (特定非営利活動法人ピアサポートネットしぶや 理事長)
- ・田中 康之 氏 (株式会社リンクアンドモチベーション フェロー)
- ・前野 隆司 氏 (慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授)
- ・松田 雄年 氏 (社会福祉法人東京家庭学校 校長)

##### ② 特別講演「子どもたちを孤立させないために、

コミュニティ・ソーシャルワーカーとして地域をつなぐ」

登壇者: 江部 直美 氏 社会福祉法人山形市社会福祉協議会 地域福祉部門

福祉のまちづくり第二係長 福祉まるごと相談員 (CSW) 主幹

##### (3) インターンシップ受入れ

これからの社会貢献活動を担う次世代の育成を目的として、平成 29 年度も、積極的にインターンシップ受け入れに取り組んだ。

今年度、夏季インターンシップとして

8月8日～22日 : 武蔵野大学2年生、専修大学3年生 2名

8月24日～9月6日 : 専修大学3年生 1名

冬季インターンシップとして

2月5日～3月1日 : 文京学院大学2年生 2名

2月19日～3月2日 : 多摩大学2年生 1名

3月5日～3月12日 : 武蔵野大学2年生 1名

#### IV. 会員の推移

|          | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正会員      | 37     | 34     | 34     | 33     | 29     | 27     |
| 賛助会員(法人) | 74     | 80     | 79     | 81     | 88     | 93     |
| 法人 計     | 111    | 114    | 113    | 114    | 117    | 120    |
| 賛助会員(個人) | 89     | 88     | 89     | 83     | 88     | 91     |

##### 《正会員》

平成 28 年度末の 29 社から、以下の通り 2 社減少し、27 社となった。

##### 退会等 2 社

- ・新日本有限責任監査法人
- ・株式会社リンクグローバルソリューション（正会員より賛助会員へ種別変更）

##### 《賛助会員》

平成 28 年度末の 88 社から、以下の通り 10 社増加、5 社減少し 93 社となった。

##### 入会等 10 社

- ・さわやか信用金庫
- ・株式会社ティップネス
- ・東京ガス株式会社
- ・マルホ株式会社
- ・東洋ゴム工業株式会社
- ・アンファー株式会社
- ・株式会社フォーバル
- ・フィリップス・ジャパン株式会社
- ・株式会社ゆうちょ銀行
- ・株式会社リンクグローバルソリューション（正会員より賛助会員へ種別変更）

##### 退会 5 社

- ・西日本高速道路株式会社
- ・株式会社リジョブ
- ・UBS グループ
- ・ニフティ株式会社
- ・株式会社リコー

以上



平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年5月  
公益社団法人日本フィランソロピー協会